

# にいがた子どものメンタルケア・ネットワーク 「子どものメンタルケア事例検討会（第5回）」開催要領

## 1 趣 旨

近年子どものこころの問題は、発達障害、虐待、いじめ、不登校、ひきこもりなど複雑化、多様化しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響による学校・家庭生活の大きな変化は子どもたちにさらなるストレスを与え、これらの問題をより重篤なものにしています。

このような背景から子どものこころの問題に対する医療ニーズが増大していますが、このような状況に対応するためには、医療だけでなく、教育、保健福祉といった幅広い分野の専門家による支援や各分野のネットワークの構築が重要です。

本県では、令和3年度に児童精神ケア体制検討ワーキングチームを設置し、子どものこころの問題の対応の方向性について検討しているところであり、その中でも人材育成やネットワークの重要性について議論されています。

このような中、子どもにかかわる教育・医療・保健福祉の関係者に対して、子どものこころの問題に関する理解、対応力の向上及び関係機関の連携を深めることを目的として、「にいがた子どものメンタルケア・ネットワーク」と称し、事例検討会を行うこととしました。

## 2 主催・共催

主催：新潟県 共催：新潟大学医学部

## 3 日 時

令和5年9月15日（金） 午後6時30分から午後8時まで

## 4 内 容

「Q&A～江川先生、杉本先生に聞いてみよう！～」

これまでの事例検討会で扱ってきたテーマを中心に、皆様から質問を受け、講師の先生方に解説していただきます。日頃感じている疑問や対応に困っていること、過去の事例検討会でもっと聞いてみたかったことなどをお寄せいただき、一緒に考えたいと思います。

- ・Q&A（テーマ）第2～4回のミニレクチャーの内容（不登校、暴力、自傷行為）、その他
- ・グループワーク

※ご質問は、申込フォームの所定の欄にご入力下さい。準備の都合上、ご質問の受付は8月31日（木）までとさせていただきます。また、時間の関係で、すべての質問にお答えできない場合もありますので、予めご了承下さい。

## 5 講 師

新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野 准教授 江川 純 先生  
新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学講座 特任准教授 杉本 篤言 先生

## 6 対象者

教育関係者、医療従事者、保健・福祉関係者、保育・幼児教育関係者等

## 7 開催方法

オンライン開催（使用ツール Zoom）

## 8 申込み方法

「新潟県電子申請システム」下記の URL もしくは QR コードからお申込みください。

[https://apply.e-tumo.jp/pref-niigata-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=6192](https://apply.e-tumo.jp/pref-niigata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=6192)

## 9 申込期限

令和 5 年 9 月 8 日（金）午後 5 時まで。

※ただし、ご質問は 4 に記載のとおり、8 月 31 日（木）までに  
受付けた分までの対応とさせていただきます。



## 10 注意事項

- ・ 1 端末を共有して複数名での視聴はご遠慮ください。
- ・ 開会から閉会まで通して参加していただくことを原則としますので、一部分のみの参加はご遠慮ください。
- ・ 事務局を除き、参加者には Zoom のカメラをオンとし、お顔を映して参加いただきます。マイク及びカメラ機能のない PC 等の端末での参加はできません。
- ・ 特にグループワーク中はカメラ・マイクをオンにして意見交換ができるようにしてください。
- ・ ただし、グループワーク中に講師や事務局がカメラをオフにして、ブレイクアウトルームを巡回させていただきますことをご了承ください。

## 11 これまでの事例検討会について

- ・ 第 1 回～第 4 回の事例検討会の開催内容、ミニレクチャーの資料、アンケート結果等について、県ホームページに掲載しています。下記 URL をご参照ください。  
県ホームページ「[いいがた子どものメンタルケア・ネットワーク](https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shougaifukushi/niigata-kodomono-menntarukea-netowarku.html) 子どものメンタルケア事例検討会について」  
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shougaifukushi/niigata-kodomono-menntarukea-netowarku.html>

### 【講師ご紹介】

#### 江川 純 先生

子どものこころ専門医、日本小児精神神経学会認定医、新潟県児童精神ケア体制検討ワーキングチーム委員。

平成 15 年、新潟大学医学部医学科卒。平成 20～21 年、あいち小児保健医療総合センターに国内留学し杉山登志郎先生に児童精神科診療を学ぶ。自閉スペクトラム症（ASD）の病態研究に従事し、平成 30 年～令和 2 年にマイアミ大学神経外科学 Vance Lemmon 教授の研究室へ留学。その後も県内の複数の施設で児童・発達障害の専門外来を担当しつつ、ASD の病態研究を続けている。

#### 杉本 篤言 先生

子どものこころ専門医、日本児童青年精神医学会認定医、新潟県児童精神ケア体制検討ワーキングチーム委員。

平成 17 年、新潟大学医学部医学科卒。平成 22～23 年、あいち小児保健医療総合センターに国内留学し杉山登志郎先生に児童精神科診療を学ぶ。平成 26～30 年、新潟県立精神医療センター児童精神科病棟長。ADHD 薬理研究、ADHD 脳画像研究、脳磁図（MEG）を用いた自閉スペクトラム症の脳画像・病態研究、ウェアラブル表情筋筋電図によるヒトの快・不快感情分析研究等に取り組んでいる。